

泰日工業大学とのVirtual Reality PBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年02月23日 ～2026年03月03日	タイ	泰日工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・情報工学科、デザイン工学科、機械工学科、基幹機械コース、機能制御システム専攻 ・学部3年生、学部2年生、学部4年生 	(芝浦工業大学) 学生12名、学生バイト3名、 教員2名 (泰日工業大学) 学生11名、学生バイト3名、 教員3名	野田 夏子(デザイン工学科)、 井尻 敬(情報・通信工学課程情報工学コース)



図1 集合写真(最終日)

泰日工業大学(TNI)と共同で、Virtual Reality applicationを開発するglobal PBLを実施した。本プログラムには、本学より、情報工学科2年生12名、修士(TA)2名、TNIより11名の学生と3名のTAが参加した。本gPBLでは、事前学習を1/19より開始し、2/22～3/4の期間においてタイバンコクにある泰日工業大学に滞在しグループワーク等を実施した。

事前学習では、Virtual Realityアプリケーション開発に必要な事前知識をつけるため『Unityの使い方(オンデマンド動画視聴と自習)』と『Meta Quest 2アプリケーション開発演習』を実施した。加えて現地文化への理解を深めるため『タイ文化に関する講義(IGP Sripiam先生)』を行った。

現地では、芝浦工大の学生とTNI学生が2人1組となってグループワークを実施した(芝浦の学生2名が参加するグループもあり)。グループワークでは、Quest 2を利用したアプリケーション開発のチュートリアル、開発テーマを決めるためのディスカッション、開発テーマを発表する中間プレゼン、テーマに沿った開発、開発成果発表会(プレゼンと体験会)を実施した。また、滞在4日目には、参加学生全員でアユタヤにある米工場や寺院を訪問するField Tripを実施し、滞在6日目にはcultural exchangeとしてタイボクシングの体験なども実施した。



図2 グループワークの様子



図3 プレゼンテーション



図4 FreeDay